

秦野市立東中学校

研究テーマ：主体的・対話的で深い学びを意識した授業改善
～さまざまなアプローチから学びを深める～

1 実践の目的

本校では、昨年度までの約4年間、「ICTを活用した、伝えあい学びあう子どもの姿をめざして」～主体的・対話的で深い学びを意識した授業改善～をテーマとし、年間3回の研究授業及び研究協議を実施してきた。生徒の学習意欲を高めるため、ICTを効果的に活用し、全職員が授業改善に尽力したことで、研究として一定の成果が得られたと実感している。

一方で、秦野市で実施している学力調査「学びの基盤プロジェクト」や全国学力・学習状況調査の結果を振り返ると、どの学年においても課題が見られる。そこで、生徒一人ひとりの学習意欲と学力の向上を目指し、目標を持って主体的に学ぶ子どもたち、自信を持って自分の意見を発信できる子どもたちの育成に向けた指導が必要ではないかと考えた。また、主体的に取り組む態度の評価の妥当性や、深い学びにつなげるための指導の工夫について、全職員で自身の授業を振り返り、研修を通してさまざまな視点から学びを深めるようにしたいと考え、本研究テーマを設定した。

2 実践の内容

(1) 研究の方向性

ア「かながわ学びづくり推進地域委託研究」の一環として、東中学校区で連携を図り、子どもたちの学びについて園小中合同での

講演会や研修、研究会を行う。

イ東小中合同の校内研究会（研究授業および研究協議）を実施し、授業力の向上を目指すとともに、小中連携を一層図り、児童生徒理解を深める。

ウ年間3回、全教科の「授業に関するアンケート」を実施し、子どもの意識の変容を見取り、授業改善に活用する。

(2) 研究・研修の実施日程

ア 6月12日（水）第1回校内研究会（評価に関する研修会）

イ 7月25日（木）第2回小中合同校内研究会（道徳指導に関する研修会）

ウ 9月4日（水）第3回小中合同校内研究会（研究授業：東中3年道徳）

エ 9月18日（水）第4回小中合同校内研究会（研究授業：東小2年道徳）

オ 11月14日（木）第5回小中合同研究会（ICTに関するカリキュラム研修会）

カ 1月6日（月）第6回園小中合同研究会（教材・リテラシーに関する講演会）

キ 1月20日（月）第7回小中合同研究会（研究授業：東中1・2年ICT活用）

(3) 研究の内容

第1回校内研究会では、神奈川県教育委員会こども教育支援課より指導主事をお招きし、資質・能力の育成を目指した授業づくり、「主体的に学習に取り組む態度」の評価方法についての研修会を行った。本研修を年度当初に設定したことで、職員一人ひと

りが妥当性・信頼性のある学習評価を意識しながら授業改善を図り、「主体的に学習に取り組む態度」の評価方法について各教科で指導計画の見直しを図ることができた。

また、7月から9月にかけて実施した道徳指導に関する研修会は、全職員が道徳の授業のあり方を改めて考えるよい機会となった。講師に、聖徳大学名誉教授で日本道徳科教育学会会長の吉本先生をお迎えし、

『「考え、議論する道徳」を確かにする道徳科の授業づくり』をテーマにご講演いただいた。道徳科の特質や実際の授業に活かせる指導案づくりのポイント等についてご教授いただいた上で、中学校、小学校それぞれにおいて研究授業を行った。研究授業後には、話し合いを活発にする発問や、子どもの心に残る終末の工夫について適切なアドバイスをいただくことができた。

さらに、各教科の「授業に関するアンケート」を年間3回（5月、10月、2月）全生徒に実施し、その結果を振り返りながら生徒の変容を見取り、指導方法の工夫や授業改善に繋がられるよう努めた。アンケート項目は本研究のテーマに迫るものとし、特に項目4や項目5の結果について重視したいと考えた。以下はアンケート項目である。

【アンケート項目】

項目1：各教科の学習は好きですか。

項目2：各教科の授業では、ペアやグループで話し合ったり自分の意見を発表したりする学習活動がありますか。

項目3：各教科の先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか。

項目4：各教科の授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいますか。

項目5：学習した内容について、分かった

点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。



3 実践の成果と課題

今年はさまざまなアプローチから研修、研究会を実施し、主体的・対話的で深い学びを意識した授業改善について、小中合同で意見交換を活発に行うことができた。今後も東中学校区で連携を図り、児童生徒理解を深め、学びの連続性を意識した授業づくりができるよう心がけていきたい。



4 今後の展開

今年度、実施した授業アンケートの分析を丁寧に行い、子どもたち一人ひとりが「粘り強く課題を解決する力」や「自分で考え、判断し、表現する力」等の非認知能力を高めていけるよう職員の指導力向上を目指したい。